

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせてまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/声明/国会
- 3面 読者のページ/まんが/乱楽パズル
- 4~5面 選択議定書批准、意見書を/はたらくコラム/ホットライン
- 6面 食事情/子育て/時事
- 7面 新婦人のページ/コロナ対策の消毒/母の歴史



千葉・柏市 藤本トミ子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

新型コロナ感染拡大防止へ 緊急事態宣言の 東京で...

国は、検査・医療、 補償こそ緊急に！



SDGs 持続可能な開発目標



東京・品川支部てまり班 武田よね子

家にも こんな時こそつながって

東京都本部は、緊急事態宣言が出され、外出自粛で集まることができない中、家にも頭も体も動かそう、「ちぎり絵」(7面)と「いすヨガ」(4月23日号7面)をやる、と呼びかけています。ちぎり絵は特別な材

料をそろえなくても気軽にできます。できあがった作品を、会えない会員に送って励まし合い、この事態をみんなで生きぬいて再会しよう、メールを送り合う工夫が生まれています。

安倍首相は7日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「緊急事態宣言」を発令し7都府県を指定。新婦人は中央常任委員会声明(2面)を発表しました。感染が全国最多の東京では、新婦人が「検査・医療体制の強化いそいで」「自粛と一体に補償を」と声をあげ、「こんな時こそつながって」と励まし合いながら、難局を乗り越えようとしています。

今からでも検査をふやし英知の結集を
緊急事態宣言後、東京では9日に最多の181人、全国でも6000人に迫り、感染者が5500人を超えました。宣言とともに出された経済政策は、安倍首相が「世界最大規模の108兆円」と自慢するものの、うち給付金はわずか6・3兆円、厳しい条件でほとんどの人が受けられませんが、(2面)。倍に

なったアベノマスク466億円に怒りがわきあがり、「補償なしの自粛はできない」と抗議が広がっています。WHO(世界保健機関)事務局長上級顧問を務める渋谷健司医師は、「検査と隔離を徹底せず、市中感染と院内感染を広がってしまった今、「宣言」の効果は薄い。大都市でのクラスター対策は破綻、検査抑制の限界を認め、今からでも検査を増やし、英知を集め

てやり直せと、厳しく警告しています(9日「AI AMOND online」)。オリンピック施設の活用を
新婦人中央支部は3日、東京都本部とともに都庁を訪れ(写真)、逼迫する医療崩壊を防ぐため、オリンピック・パラリンピック施設(晴海選



豊洲市場から見た晴海選手村全景 (選手村の写真は椎葉紀男さん提供)

手村)の交流・食堂施設を人工呼吸器などを備えた専用病棟に、住宅棟は軽症者向けの隔離病棟として活用することを求める緊急の要請を小池都知事あてに届けました。東京都は入院患者用に約1000床の病棟を確保しましたが、4月に入



都庁へ要請書を届ける都本部の佐久間会長(中央)と中央支部の福田支部長(左)

り患者が急増すると入院者が病床数に迫り緊急。7日からは都内のホテルを「1棟借り」し、無症状・軽症者をホテルや自宅へ移すことを始めていますが、医療崩壊の危機を脱する対応とはなっていない。

都立病院・公社病院が、感染者指定医療機関を担い、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ最前線でたかかっている最中、都は3月31日、都内8カ所の都立病院と6カ所の公社病院を、2020年度内をめどに経営効率化を追求する独立行政法人化の方針を発表。

支部長の福田サツ子さんは、「食堂の他に商業施設が入る建物などもあります。安倍首相が東京五輪を『コロナに打ち勝った証に』と言ったのであれば、施設の活用は都民に支持を得られます」と話します。

佐久間千絵都本部会長は、「今の医療体制の危機的状況は、公的医療への予算削減、都立病院を減らし、保険の範囲で使えるベッドの削減などが強行してきた政策も大きな要因」と強く抗議、方針の撤回と公的医療の拡充を求めました。

都立・公社病院の拡充こそ！
都立病院・公社病院が、感染者指定医療機関を担い、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ最前線

4月30日号の臨時休刊のお知らせ
日頃のご購読に感謝を申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大で、かつてない深刻な事態となっています。中央本部は感染拡大を防止する社会的責任を果たしつつ、しんぶん発行を継続するために、4月30日号を臨時休刊にせざるを得なくなりました。既定の休刊(5月7日号)と合わせ、2週連続での休刊となります。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。
2020年4月7日
新婦人しんぶん編集部
新日本婦人の会

